

コメントの概要とコメントに対する考え方

No.	コメントの概要	コメントに対する考え方
①	<p>正の差金が発生した場合、FX 取引参加者側の事務効率化の観点から、手動での証拠金の出金手続き処理を挟まずに自動で出金されるようにしていただきたい。</p>	<p>出金時における相場や参加者の取引・ポジション状況によっては、出金により有効証拠金比率が大きく低下する可能性があるため、参加者各社のご判断にて、出金額を決定していただく手続きとしております。</p>
②	<p>出金可能となる時間は午後 2 時ではなく、午前 11 時程度までに早めていただきたい。</p>	<p>出金可能時間より前に証拠金不足額の入金を完了する必要があります。出金可能時間を午前 11 時に繰上げますと、その分、当社への入金時限を早めることになるため、出金可能時間は現行案のままとさせていただきます。</p>
③	<p>資金効率の観点から、預託すべき清算預託金額については、参加者側で事前にある程度見積りができるようにしていただきたい。</p>	<p>個々の清算参加者に預託いただく清算預託金必要額は、清算機関が確保すべき清算預託金の総額を算出した上で、各清算参加者の保有ポジションや証拠金状況に応じて按分して求めます。言い換えますと、個々の清算参加者の清算預託金必要額は、自社の要因だけでなく他社の要因にも依存して決まるため、事前に正確な見積りをお示しすることは困難です。</p> <p>しかしながら、各清算参加者において、推定に役立つデータ等を可能な範囲でご提供できるよう検討致します。</p>

以上